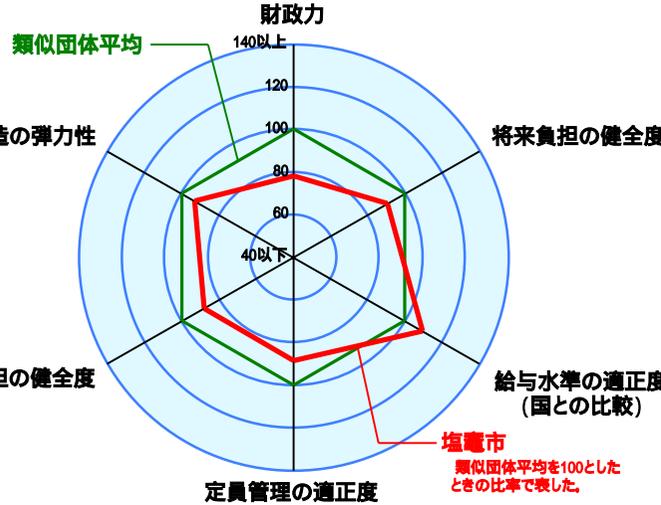


# 市町村財政比較分析表(平成16年度決算)

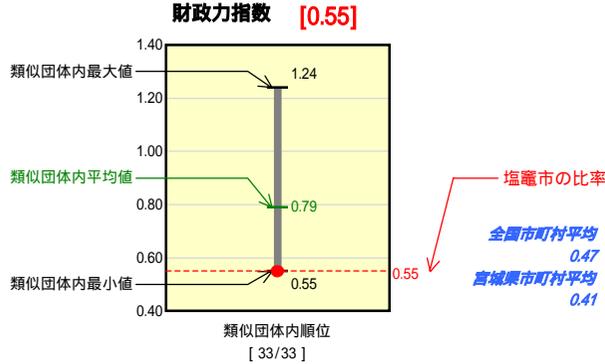
## 宮城県 塩竈市

人口	60,316 人(H17.3.31現在)
面積	17.85 km <sup>2</sup>
歳入総額	19,111,773 千円
歳出総額	18,786,780 千円
実質収支	157,357 千円

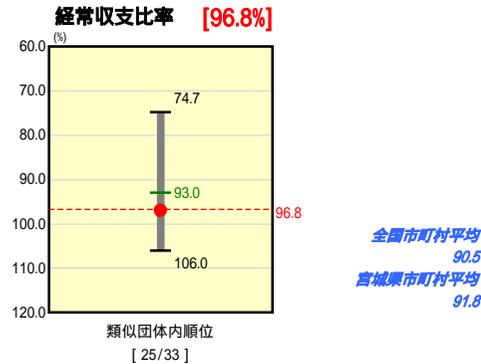


類似団体とは、人口および産業構造等により全国の市町村を88のグループに分類した結果、当該団体と同じグループに属する団体を言う。

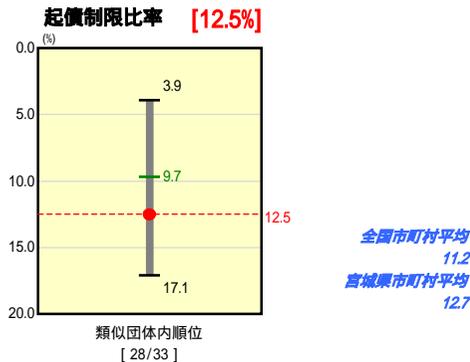
### 財政力



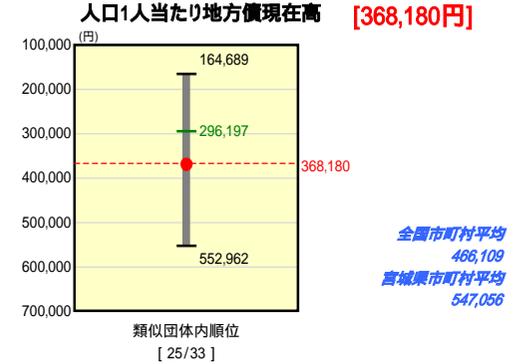
### 財政構造の弾力性



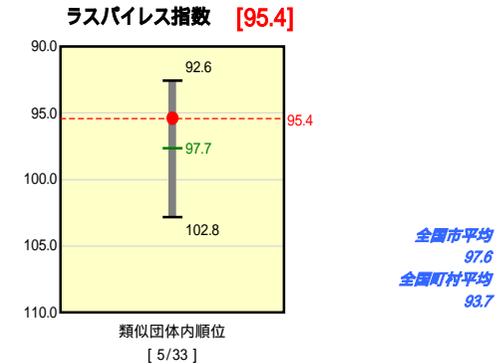
### 公債費負担の健全度



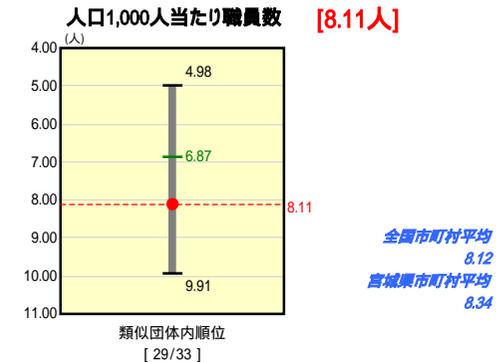
### 将来負担の健全度



### 給与水準の適正度(国との比較)



### 定員管理の適正度



### 分析欄

- 財政力指数**
  - 人口の減少や長引く景気の低迷等により、市税が年々落ち込んでいる影響で、0.55と類似団体で最も低い水準にある。この数年低下に歯止めがかからない状態にあるが、歳入については「新行財政改革推進計画」に掲げている市税等自主財源の確保として市税等収納対策本部を設置し、収納体制の一層の強化を図り収納率を向上させていくとともに、企業誘致やまちの活性化の核となるまちづくり事業を積極的に展開し、自主財源の確保を図り、改善を目指す。
- 経常収支比率**
  - 公債費や扶助費の増加があり、類似平均より3.8ポイント上回る96.8という高い数値になっている。このため、義務的な経費を除く経費に対し、一般財源特配方式による予算編成を継続する。人件費は給与適正化、職員定数適正化を推進し、確実な縮減をはかる。さらに本市の特徴の一つである繰出金についても特別会計の経営健全化計画に基づき繰出額抑制をはかることにより経常経費縮減を目指す。
- 起債制限比率**
  - 公共用地先行取得事業債の一括償還があったため、前年より0.3ポイント増加し12.5となった。現在は類似平均を上回っているものの、平成17年度に公的資金の借換を行い、また、今後、普通建設事業を抑制することにより元利償還金は減少に向かう見込みである。
- 人口1人当たり地方債現在高**
  - 過去の積極的な都市基盤整備により多額の地方債を発行したため類似平均を上回っているが、県内市町村平均は下回った。今後は普通建設事業の抑制により、減少に向かう見込みである。
- ラスパイレス指数**
  - 当市の指数は95.4と全国市平均と類似平均をいずれも下回っている。今後も特殊勤務手当や給料の調整額の見直しや、級別定数の設定など、更なる給与制度の適正化に努めている。
- 人口1,000人当たり職員数**
  - 過去の人口増加に対応する人員を確保してきた経緯から、現在は類似平均を上回っている。今後は「定員適正化計画」に基づき行政の守備範囲を明確にしながら必要な人員を精査し、より簡素で効率的な行政体制を確立するために、退職者不補充などを行い平成15～22年度までに職員185人削減を目標に適正化を推進する。